

九州民放クラブだより

生涯スポーツ(？)ボウリング

千綾 奉文(OBS)

私たちが大分にボウリング同好会が発足したのは4年前なので比較的新しい会です。年に4回、10名く15名が集まって3ゲーム投げ、控え室で美味しい弁当を食べながら歓談しています。

現役時代ボウリングブームを経験した人が殆どですが、この年齢になると大病を患った人や手術を経験した人、スコアは気にせず昔馴染みの友との時間が楽しみという会員もいます。

その中に今年8月に最高齢の86歳になった藤内雄彦さんという、時々200超えというところでもないスコアを出す方がいて、私たちはいつもその先輩からエネルギーを頂いています。同好会が発足した当時、245、223というスコアが続き彼だけがマイナスイハンディがつくようになりました。

私たちがいつもお世話になってるOBSボウルというボウリング場の控え室の壁に、日本ボウリング場協会に加盟している会員の「平成26年度全国長寿ボウラー」

という番付表が張り出されています。それによりますと男性は80歳以上が全国で1847名、そのうち最高齢は静岡の100歳の方、女性の75歳以上が全国で2565名、最高齢は福岡の95歳の方でした。沖縄の間もなく100歳という男性は現在も週2回リーグ戦に参加していてアベレージは140前後だそうです。

大分の藤内さんは86歳ですので番付表では開脇クラス、ちなみにアベレージは170前後で、前回の例会でも214というハイスコアをマークしました。

レジャーの多様化や特に東日本大震災後耐震構造に対応できないなどの理由で閉鎖が相次ぎ、最盛期の1972年に全国で3697あったボウリング場は現在およそ850まで数を減らしているとのこと。同時にボウリング人口も減少しているようですが、いつでも楽しめる普段着のまま道具も持たずに行つてゲームができる。しかも手軽な割に意外と運動量もあり、生涯スポーツとして何歳になつても楽しめるのがボウリングです。

ひな祭りに「雅ご膳」を味わう

武藤 縁(RKK)

☆3月3日、クラブ熊本の「女性のつどい」を開催しました。

当日は生憎の雨模様にも拘わらず10名の会員が出席され、会場のホテルで桃の節句の昼ご飯を頂きました。ホテルロビーには豪華な内裏雛が飾られ人目を集めてい



縁起のよい内裏雛と記念撮影

ました。

縁起もよい「瓢型の四段重」には見た目も美しく旬の野菜の炊き合わせや煮物、焼き物など彩りよく盛られて食欲をそそりました。

料理の素材や作り方、近況報告で話は盛り上がり、予定された2時間半は瞬く間に過ぎ、再会を誓

つてお開きとなりました。

☆私は4月16日から10日間の日程でベネルクスへ出かけました。ヨーロッパは何度か訪れましたが、ベネルクスは未踏の地でした。

オランダでは「チューリップ祭り」が開催中でしたが、寒くてまだ固い蕾の種類も多くありました。



オランダ・チューリップ畑の筆者

世界遺産の「キンデルダイフ風車群」を見た時は想像以上の大きさに圧倒されました。ベルギーは四国の約1.6倍の国土で人口は116万人です。中世を閉じ込めたようなブルージュではダイヤモンド研磨技術が発達して、世界中の女性を魅了してやまない高級アクセサリーが「ダイヤモンドハウス」で眩いきらめきを放っています。ルクセンブルグは、神奈川県ほどの国土を持つ小さな立憲君主制の、古きヨーロッパの佇まいを残す落ち着いた雰囲気の国でした。